



大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち

みなみ風



発行/新潟市南区役所
編集/南区役所地域総務課
〒950-1292 南区白根1235番地
電話 025(373)1000(代表)
FAX 025(373)2385

南区ホームページ <http://www.city.niigata.lg.jp/minami/> Eメール chiikisomu.s@city.niigata.lg.jp (南区役所地域総務課)

南区の人口(平成31年4月末現在、カッコ内は前月比): 44,744人(-42) 男: 21,791人(-15) 女: 22,953人(-27) 世帯数 16,099世帯(+21) (住民基本台帳による)



白根大凧合戦 間もなく開戦!

三百年の伝統を誇る勇壮な合戦絵巻 白根大凧合戦を開催します。
各組の熱い思いを乗せた凧が大空を乱舞します。

日時 6月6日(木)～10日(月) 午後1時～6時
(6日は午後2時頃から、10日は午後5時半まで)

会場 南区白根・西白根 中ノ口川堤防上

問い合わせ 白根大凧合戦実行委員会事務局(南区役所産業振興課内) ☎372-6505

詳細は本日の新聞折り込みの「白根大凧合戦チラシ」や「新潟市南区観光協会ホームページ」をご覧ください。

観覧席案内

○有料観覧席(1人500円)



6月5日(水)までは上記
問い合わせに、6日(木)以
降は有料観覧席で直接申
し込みください。ただし、満
席の場合があります。観覧

席券の提示で「しろね大凧と歴史の館」に無料で、旧笹川家住宅
には団体料金で入場できます。(6月末まで)

○無料観覧席

申し込み不要 ※白根側は混雑が予想されます

○有料観覧船

高校生以上1人100円 当日直接申し込みください。

大凧合戦写真コンテスト(作品募集)

テーマ ことしの大凧合戦

規定 カラー四つ切り(ワイド可)、デジタル撮
影可。作品は未発表のもので1人5点
まで。

締め切り 6月28日(金)※消印有効

ライブ映像配信

◆SKY FINDER

検索 白根大凧VR

8日(土)・9日(日)



今年の意気込みを 昨年優勝組にインタビュー



大凧
優勝技能の部
藤木 努さん
弁慶組



巻凧
優勝の部
樋口 悟さん
木川組

3連覇を狙っていきたく
ですが、純粹に凧合戦を楽し
みたいと思います!

今年はW優勝狙います!

催し物情報

日付	催し物	時間	会場	内容	問い合わせ先
4日(火)	北風(しもかぜ)まつり	午後7時から	本町通り(北條医院前十字路)	太鼓やよさこいなどで凧合戦に絶好の風である「北風(しもかぜ)」を祈願する祭りです。	白根地域生活センター ☎373-2800
5日(水)	子ども大凧合戦大会	午後2時～5時半(雨天時8日(土)午前9時から)	凧合戦会場	区内小学生30組による大人顔負けの大凧合戦	白根地区公民館 ☎372-5533
6日(木)	市中パレード	午後0時半から(雨天時中止)	本町通りほか	小学生のトランペット鼓隊を先頭に、凧合戦に参加する全凧組がパレード	同実行委員会 ☎372-6505
8日(土)	笹川邸茶会	午前10時～午後3時	旧笹川家住宅	先着50人	味方茶道クラブ ☎372-2558
	花火大会	午後8時～9時 ※雨天時は翌9日(日)に延期	打上げ場所: 西白根地内	お祭り広場前夜祭として、夜空を彩ります。凧合戦会場では、打ち上げ前にオープニングセレモニーを行います。	白根青年会議所 ☎373-4507
9日(日)	お祭り広場	午前10時～午後5時	本町通り	飲食コーナーやダンスの祭典、太鼓演奏などさまざまなステージイベントが開催され、凧合戦を一層盛り上げます。	白根商工会 ☎373-4181

8日 9日

南区“食”の合戦

南区の食材などを使った食の祭典

「白根釜めし」、「味方ロール」、「つぎがた丼」などの食の数々

白根会場

8日(土)午前11時～午後3時 本町通りミニパーク内
9日(日)午前10時～午後3時 第四銀行白根支店前

味方会場

8日(土)・9日(日) 午前11時～午後3時



西白根ふれあいの場公園下駐車場
問い合わせ
白根商工会
☎373-4181

9日

第3回みなみマルシェ

～シロネラコッテ～

時間 午前10時～午後5時

会場 リオンドール白根店前

飲食・物販などおいしく楽しいブースが並びます。南区産の農畜産物を使ったグルメやスイーツも要チェック!

問い合わせ

にいがた南区創生会議 ☎372-6505



地場産苧麻でいざ出陣

白根の大凧に使われている元綱は直径2.5cm、長さ130mです。原材料の大麻は、神社のしめ縄にも使われる貴重なものですが、栽培規制や生産者の減少などにより、今後は入手が困難になると心配されています。

そんな大麻に代わり、小千谷縮の原料としても使われる苧麻(ちよま)を綱の原料にできないかと平成27年から地元での試験栽培を始め、昨年の夏にようやく繊維の採取にこぎつけました。面積の限られた試験は場のため、取られた量はわずかでしたが、今年の「新潟開港150周年記念大凧」の元綱の原料の一部として使用し、6月6日(木)の大凧合戦開戦式で大空を舞います。

問い合わせ 産業振興課 ☎372-6505



苧麻収穫作業の様子

元綱

